

1 上級

| 職種 | 採用予定人数 | 受験資格 |
|---------|--------|--|
| 一般行政職 | 3人程度 | ▶平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた人。学歴不問 ▶平成11年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学(短期大学除く)を卒業した人が令和3年3月までに卒業見込みの人 |
| 技術職(土木) | 若干名 | ▶昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた人。学歴不問 ▶平成11年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学(短期大学除く)を卒業した人が令和3年3月までに卒業見込みの人 |
| 技術職(電気) | 若干名 | ▶昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた人。学歴不問 ▶平成11年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法に基づく大学(短期大学除く)を卒業した人が令和3年3月までに卒業見込みの人 |

2 初級

| | | |
|---------|------|-----------------------------------|
| 一般行政職 | 2人程度 | 平成11年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた人。学歴不問 |
| 技術職(土木) | 若干名 | 平成11年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた人。学歴不問 |



未病という概念を通して

銚子市歯科医師会 吉川 秀樹

聞きなれない言葉かもしれませんが、「未病」は約2千年前の中国の漢方を起源とする言葉です。

未病とは、「健康と病気を二分論の概念で捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間に連続的に変化するものとして捉え、この全ての変化の過程を表す概念である」と定義されています。平たく言うと、健康と病気の中間が未病です。

未病は大きく2つに分けられます。自覚症状は無いが、検査では異常がある状態(西洋医学的未病)と、自覚症状はあるが、検査では異常が無い状態(東洋医学的未病)です。

そして、自覚症状があり、検査でも異常がある状態が病気となります。外傷や感染症などを除けば、人はある日突然、病気を発症するのではなく、長年の生活習慣や遺伝的要因による変化などを経て、症状が少しずつ現れます。

高血圧症、糖尿病、歯科領域で言えばむし歯、歯周病などの生活習慣病が当てはめやすいと思います。

ところで、日本で2000年代に生まれた子供たちは、その半数近くが100歳以上生きるといわれ、現在の中高齢者も過半数が90歳以上生きるという見解が有力です。

老化に伴う心身の変化や病気は治るものばかりではありません。「病気と共生し、上手く付き合っていく」と考えても良いのではないのでしょうか。

そのためには、一人ひとりが自分の体の状態と向き合い、適切な医学的管理の下で、自らを改善しようとする意識が必要です。

